



協働的な学びのすすめ

校長 馬場 誠

大型連休が終わり、生徒たちの意識も変わる頃となりました。4月はエンジンの掛かり始め。ゆっくりだけど、内側からあふれる力で前進を始めた時期です。そして、5月。いよいよ本格的な「中学校生活」にギアチェンジします。頑張ろうと思える生徒は、しっかりと目標をもち、学校生活に楽しさや喜びを見いだせるでしょう。一方、ちょっと辛いなど感じる生徒は（こういう人が少なくないかも）、どんどん周囲の助けを求めてください。そう、遠慮なく。

今の時代、人の手を借りることは恥ずかしいことではありません。以前は「自分のことは自分でやる」「人に頼るな」が美德とされていました。しかし、現代は複雑で将来何が起こるか予測困難な時代、他の人と協力して事態を乗り越える人のほうが有利と言われています。

学習に関しても、協働で行うほうがより高い成果を得ることができます。例えば、人と話すことで、聞く姿勢が身につく、理解する能力が向上するでしょう。また、自分がなぜそう考えたのか説明することで、適切な言葉を選びながら、論理的に考える力が身につきますし、難しい問題でも、だれかと一緒に取り組めば、挑戦しようとする意欲がわきます。学習は個人プレーどうしの競争ではなく、みんなで高みを目指そうとする行為へと変わりました。

もちろん、協働学習は人に依存することを目的にしてはなりません。むしろ、その逆。まず、自分の興味・関心や必要性に合わせた学習をしようという姿勢（これを「個別最適な学び」といいます）を基本とし、そのうえでいろいろな人と関わることで、自分の学習を修正したり、他の見方を知ったり、深く考えたりすることができるようになるわけです。協働で学ぶということは、私という個人の成長のためにあるといえます。

ところで、中学生にとって協働学習が大事なものは、脳の発達とも関係しているということも申し添えたいと思います。「自分の力は今のくらいあるか」「どうすればもっと力をつけることができるか」というふうに、自分のことをもう一人の自分がモニターしたりコントロールしたりすることを「メタ認知」といいます。この機能は脳の前頭前野が発達する小学校高学年から25歳くらいまでの間に成長するそうです。中学生はちょうど「メタ認知」が芽生えた時期。だからこそ、学校では他の人と意見を交わす機会を増やすことが重要です。多角的な視点を取り入れ、自分を客観的に見つめる能力がこの時期だからこそ育つからです。



一人でじっくり考える時間も大切、だけどそれだけではだめで、仲間と意見を交わす時間もしっかり確保し、この二つをバランス良く取り入れることがこれからの学びの姿になるでしょう。家庭と学校で手を携えながら、仲間の良さを知り、積極的に関係性を築ける子どもを育てていきたいと思っています。

調布市防災教育の日 <いのちの授業・引き取り訓練> 4/25(土)



市教育委員会では、平成 24 年度から、毎年 4 月の第 4 土曜日を「市防災教育の日」と定め、学校と保護者・地域の方々が一体となった防災教育、避難所開設・運営訓練などの防災訓練を市立小・中学校全 28 校及び大町スポーツ施設で一斉に実施しています。

今年度は、調布市東部公民館の専門員の岩館様から「津波にあった家族と故郷『釜石市』東日本大震災を振り返って」と題して、東日本大震災の体験をもとに、命の尊さと備えの重要性についてご講演いただきました。一番大切なことは「自分自身がどう行動すべきか」を自分の問題として考え、今、準備することです。ご家庭でも、いざというときの備えについて話し合ってみてください。

道徳「命の授業」では、1年生「被災地の写真スタジオ」2年生「命が生まれるそのときに」3年生「リクエスト食に込められた思い」を題材にして生命について考えました。

また、引き取り訓練は、多くの保護者にご協力いただき、実施することができました。その後の避難所体験では、避難スペース体験や仮設トイレ体験などを体験し、当日は防災について自分事として考え議論する時間となりました。自分の命、大切な人の命を守り、そして中学生も地域の防災の力として活動していきます。



2年生 認知症サポーター養成講座 4/22(水)



「認知症サポーター」とは、認知症に関する正しい知識をもち、地域において認知症の人や家族を温かく見守り、自分でできる範囲で支援する人のことです。

調布市地域包括支援センターつつじが丘・調布市社会福祉協議会 G²カイズ・調布ゆうあい福祉公社の方々にご協力いただき、寸劇を交えてお話いただきました。まずは認知症を理解すること、そして認知症で困っている方には、失敗を責めず、できることを奪わず、また、わかりやすい言葉を工夫して簡潔に話すことが必要であることを学びました。

自転車交通安全教室 スカートストレイト 5/8(金)



本校校庭にて、スタントマンによる実演を交え「スクエア・ストレイト」形式の交通安全教室を行いました。

目の前で再現される自転車事故の衝撃に、生徒は一瞬で表情を引き締めていました。

一歩間違えれば被害者にも加害者にもなる恐怖を実感し、交通ルールの遵守が、いかに命を守ることにつながるかを学びました。法改正により、今後 16 歳以上の自転車違反には青切符による反則金が科されるなど。大人の責任が求められます。中学生の今のうちから安全意識を高めることが大切です。ご家庭でも自転車の乗り方について話し合ってみてください。



1年生 安心ゲットの授業 5/1(金)・7(木)・14(木)

本校で勤務されていたスクールカウンセラーの方を講師としてお招きし、不安な気持ちとの付き合い方について学びました。



不安な気持ちは、危険を知らせるサインとなることもあり、不安を感じないことが望ましいわけではなく、気づいて寄り添うことが大切です。



第1回「気持ちと体」
第2回「気持ちと言葉」
第3回「気持ちと行動」
授業を通して、不安を感じやすい思春期の時期における様々な対応方法を学び、自分自身が自分のことを理解する手立てを考えました。

☆生徒の活躍の様子☆

■「さくらまつり」ボランティア
◇15名 準備・片付け・舞台司会など

■野球部
◇第9ブロック春季大会 Aブロック優勝

★5月の予定★

- 1日(金) 全国学力・学習状況調査(3年)
- 11日(月) 専門委員会
- 12日(火) 校内研修
- 13日(水) 眼科検診
調中研総会・一斉部会
- 14日(木) 中央委員会・内科検診(2年)
- 15日(金) 避難訓練
- 18日(月) 生徒会朝礼
- 20日(水) 居心地向上生徒チーム会
- 21日(木) 耳鼻科検診・内科検診(3年)
- 22日(金) 第1回英検
- 25日(月) 教育実習始 ~6月12日(金)
体育祭係会

coming soon

第50回 体育祭 6/6(土) 雨天順延

本格的な練習も始まりました。生徒たちはクラスの仲間に声をかけ合いながら頑張っています。応援よろしくお願いします。当日は会場の都合により、各家庭2名までの参観となります。